



令和2年3月24日発行 第12号

校長 脇坂 満

大淀中学校 生徒・保護者・地域の皆様へ

4年間大淀中学校にお世話になるとともに、38年間の教職生活の最後を、この大淀中学校で迎えました。本当にお世話になりました。特にこの4年間は、生徒のみなさんとの毎朝のハイタッチが校長として大変楽しみでした(笑)はにかみながらもハイタッチしてくれるみんなの笑顔がとても印象深く残っています。保護者・地域の皆様におかれましては、たくさん学校に言いたいことがあったかと思いますが、温かい目で見守り、ご理解・ご協力いただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。令和2年度も変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、卒業式で卒業生に贈った言葉を、1・2年生にも贈ります。「百折不撓」…失敗を何度も繰り返しても、挫折を味わっても、決してあきらめずに立ち向かえ！

京都市立大淀中学校 第17代校長 脇坂 満

離任にあたり、この三年間でお世話になった皆様方に感謝申し上げます。三年間、楽しいことも苦しいこともたくさんありました、今はすべてが良い思い出になっています。

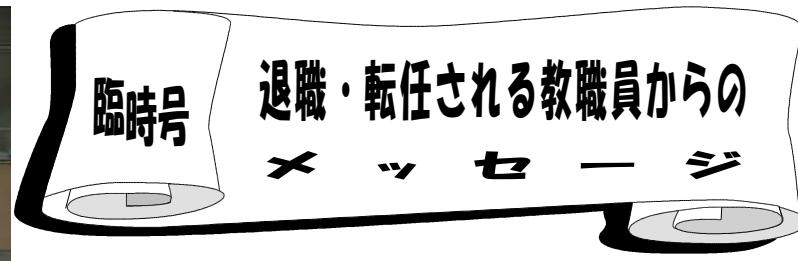
特に2年生とは、濃い時間を過ごさせたことに感謝しています。あなた方ともう一年、ともに過ごすことができないことが、大変残念ではあります、来年の卒業の時にどのような姿に成長しているのかを考えると楽しみでなりません。お互いに頑張りましょう！！大淀中学校のみなさんの成長と発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

京藤 素直

26年前、初めての中学校が大淀中でした。雰囲気はあまり変わっていませんでしたが、そのとき教えていた3年生の教室が図書室になっていました。

卒業生が2年生のとき、2クラスだけ理科の授業を受け持ちはしました。いろいろなことがたくさんあってびっくりしました。教室が図書室になったよりびっくりしました。

3年生になって、みなさん全員を教えることができました。テストの平均点が思ったより高くてびっくりしました。みなさんと一緒に修学旅行も行けたし、初めてT.D.ランドも行けたし、今までで一番楽しく先生ができた気がします。もう少し学校の先生を続けたいと思いました。ありがとうございました。川崎 協一



大淀中学校での生活は、とても充実した日々で、様々な事を学ぶことができました。

卒業生からは、2年間、大きなエネルギーを感じ続け、一人ひとりの頑張りが束になると、これだけかっこいい形になるのだと驚かされました。私自身も、この2年間で、伝えたり、叱ったりすることだけでなく、傾聴したり、見守ったりすることの大切さを学んだような気がします。

学校を異動となった時は、いつもどこかに心残りがあります。無事、卒業を迎えたことにに関しての安堵感はありますが、やはり部活動については、心残りがあります。しかし、しんどい場面を乗り越えてきたなら、きっと大丈夫。夏の大会でかっこいいチームを完成させていることを期待します。

環境を変えるという事は、不安も大きいですが、その分、自分を変えることのできる大きなチャンスだと思います。新たなステージでチャレンジしていきます。皆さんも、自他の心と体を大切に、楽しい学校生活をお過ごしください。では、お元気で！

保健体育科 安西 悠喜

大淀中の5年間で得たものは、何にも代え難い素晴らしい「出会い」でした。みなさんとの出会いから、言葉のもつ力の大きさ、命の尊さ、信じ合える喜び、思いやりの心、全力のカッコ良さ、最後までボールを追いかけラケットを振った先にある感動、淀地域の魅力…多くのことを教えてもらいました。みなさんとの出会いをなくして、今の私はありません。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この出会いを力に変えて、前に進んで行きます。

5年間本当にありがとうございました。みなさんのご活躍を新たな地から応援しています。

田中 杏奈

1年間、みんなと過ごせたことが出来て良かったです。学級旗を作ったり、校外学習に行ったりしましたね。詩を作ったり、好きなものを発表してくれたりもしましたね。意外な一面を知って感心したこともありました。

廊下で、休み時間におしゃべりをしていた時も楽しかったです。もっともっとたくさんの人とお話ししかったけれど、時間がなくなってしまいました。とても残念です。2年生になっても仲良く、何でも素直に話せる学年であって下さい。

植松 洋子

新型コロナウイルス感染拡大防止対応に伴い、予定していました令和元年度の「離任式」を中止とさせていただきます。

本来なら離任する管理職や教職員が、在校生や卒業生・保護者の皆様に対しまして、挨拶をする場ありますが、実情をご理解いただきますようお願い申し上げます。

代わりに、退職・転任される教職員からメッセージをいただきましたので掲載させていただきます。ご一読いただきますようお願いいたします。

大老・井伊直弼が茶道の一番の心得として、著書『茶湯一会集』巻頭に

抑（そもそも）茶湯の交會（こうかい）は一期一會といひて、たとへば、幾度おなじ主客交會するとも、今日の會ににふたゝびかへらざる事を思へば、實に我（わが）一世一度の會（え）なり。さるにより、主人は萬事に心を配り、聊（いささか）も龐末（そまつ）なきやう、深切（しんせつ）實意（じつい）を盡（つく）し、客にも此會に又逢ひがたき事を辨（わきま）へ、亭主の趣向何一つもおろかならぬを感心し、實意を以て交るべきなり。是を一期一會といふ。

岡本 崇紀

～離任にあたりメッセージ～

1年間といつても30日ほどの出会いとなった2年生のみなさんへ。

いよいよ4月より3年生ですね。最上級生としての自覚を持って、1日1日を大切に過ごしてください。みなさんの活躍を祈っています。

1年間、ありがとうございました。
初任者研修担当 久保 薫

1ヶ月間の大淀中学校でしたが、それでも大淀中学校のよいところをたくさん知ることができました。またどこかでお会いできればと思っています。短い間でしたがありがとうございました。

小林さつき

ありがとう！

栗花落 義隆

2枚目に続きます。

生徒の皆さんへ

三年間本当にありがとうございました。御礼申し上げます。

振り返ってみて今の気持ちはたいへん楽しく作業をさせていただいたということです。

こんな気持ちになるとは夢にも思いませんでした。

サラリーマンからの転職で、最初は学校の様子や生徒さんと屋間一緒に生活をしてゆくことなど戸惑うことばかりで、ただ漠然と一日一日が過ぎてゆく感じでした。

ある時 自分の気付いた事を素直に表現しよう、行動に移してゆこうと思い、春にはチューリップ。夏には朝顔・ひまわり。秋はコスモス。冬にはパンジー・ビオラと季節の花を植えました。

洗面台にはカラータイルを貼り付けたり 庭に石でオブジェをこしらえたりしたところ、生徒さんが喜んでくれているような気がしました。

今度はどうしてビックリさせようか。気持ちよくなつてもらおうかとワクワクしながら作業を続けていくと、折にふれて「ニシザキさん いつもきれいにしてくれてありがとうございます」と声をかけてくれたり、文章にして喜びを書いてくれたりして、喜んでもらっているなというのがわかつきました。

皆さんのお陰で私も嬉しくなり、また頑張ろうという気持ちになりました。

このように日々の作業で、人に喜んでいただくという様なことが、今まで周りが大人ばかりの私の人生において経験してこなかったような気がしたのです。

と同時に、この経験が私の内に変化をもたらし、今までとは違った新しい価値観で、力強く、粘り強く、困難を乗り越えられるようなワクワク感を皆さんから頂いたような気がします。

人に喜んでいただくという気持ちを大切にして、これから的人生をあかるく元気で楽しく暮らしていければと思います。

本当にお世話になりました。

ありがとうございました。

管理用務員 西崎 正規

「技術の進化は、100年前の人々の夢を現実に実現しました。皆さんの思い描く夢の社会も100年以内に実現させることができるでしょう。夢の実現を目指し学びましょう・・・」
技術の授業のイントロでしたね。デジタル化と情報化社会の進化は想定以上の未来を創造するかも知れません。しかし、アナログ社会に生きる私たち人間の現実は、コロナウィルスに翻弄され、社会は混乱に陥っています。20年前の映画「バイオハザード」を彷彿させる状況に社会の脆弱性を強く感じます。高度な経済発展を目指した故に、温暖化、環境汚染を招き、想定外の災害が続出しています。原発事故により汚染された地域は人の住めない廃墟と化した現実を他人事と済ますことはできません。私たちの夢の実現がホラー化しないよう、理想の社会の実現を目指し、自らの未来をグローバルに広い視野で考えましょう。夢や目標の実現に向けて何をどう学ぶべきかを考え人間力を高めましょう。 2年間ありがとうございました、私は、明日からまた、未踏峰を目指して頑張ります。

土阪 元樹

ご退職・ご転任されます教職員の皆様の、今後のますますのご活躍とご健勝を祈念するとともに、
令和2年度からの大淀中学校への変わらぬご支援とご協力を、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。